

上野幌・青葉地域 **北側部会 ニュース**

上野幌・青葉地域小規模校検討委員会はこれまで地域の4つの小学校を対象に検討してきました。平成28年9月からは北側部会（上野幌小学校・青葉小学校）と南側部会（上野幌西小学校・上野幌東小学校）に分かれて検討しています。このニュースについても部会ごとに発行しています。

～このニュースはまちづくりセンターや児童会館、学校でも配布しています～

**第6回部会について**

11月15日（水曜日）午後1時から、青葉小学校で第6回部会を開催し、通学安全に関する検討を行いました。

**報告事項****個別に寄せられた  
意見**

8月31日に開催した第5回部会以降、メールで2件、FAXで1件（ニュースの訂正）、来庁1件、合計4件のご意見等が事務局に寄せられており、その報告がありました。

- 統合に伴い通学距離が2km弱となる一年生は片道1時間弱かかるのではないか。吹雪の日に一人で歩く場合も考え、スクールバスの運用や民間路線バスとの協力など柔軟に考えていただければと思う。  
(平成29年10月 メール)

(事務局回答)

札幌市の徒歩通学は、小学校では概ね2km、中学校では概ね3kmを目安としています。統合後に活用する校舎を検討する際にも、通学距離が長くなる児童のため、通学安全に関する取組を充実させる必要がある旨のご意見をいただいていたところです。

- 統合によって通学距離が延びて不利益を被る児童が発生するのは事実なので、それをしっかり受け止めてほしい。
- 通学距離が2km程度になる児童分布を分析した上で、路線バスの通学定期券助成や暫定的に両方（統合校と自宅に近い学校）を選択できるようにする措置について検討してほしい。
- ニュースの内容がわかりづらい。活字としてまとめることが難しいのはわかるが、地域や保護者の方が決定されたことをすぐに理解できるように工夫してほしい。
- 具体的に統合の方向性が定まった中で様々な懸念を持っている人が生じると思う。そのような潜在的な意見を拾うため、ニュースだけでなく個別に意見を聞く場を事務局として持つべきだと思う。

(平成29年10月 来庁)

○上野幌小学校は、おおよそ 120 年の歴史があり、近隣小学校の母体となった小学校である。なんでも変えれば良いのではなく、校名が変わらず生き続けることで、児童、保護者、地域の皆さんにも安心感が生まれると思う。

○校名変更よりも学童保育、通学安全など、実践的な内容に議論の時間をかけてほしい。 (平成 29 年 11 月 メール)

(事務局回答)

上野幌小学校と青葉小学校にはそれぞれ長い歴史があり、両校の地域や保護者の方がそれぞれの学校に愛着があることは重々承知しています。そのうえで、両校の子どもたちに、「新しい学校」ができるという共通認識を持ってもらえることが大切であるという考えのもと、校名案を協議していく予定です。

#### 【お詫びと訂正】

部会ニュース第 5 号 1 ページに記載した「個別に寄せられた意見」に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。(誤：「青葉町の地域」⇒正：「青葉中学校の敷地内」)

#### 寄せられた意見 [訂正後]

○この地域で施設一体型の小中一貫校のモデル校を導入できないか。青葉地域の方は、小中一貫校ではなく、地域から小学校がなくなることにこだわりがあると思うので、青葉中学校の敷地内に小中一貫校を整備するのが一番円満な結果になると思う。

### 小中一貫教育について (説明)

第 2 回と第 3 回部会における検討の際に使用した資料を用いて、小中一貫教育に関する振り返りを行いました。

### 通学安全について (報告・検討)

新しい学校における通学安全について、検討を行いました。

### 通学路の状況確認について (報告)

統合後は通学路が変更になる青葉小学校の校区内を、事前に委員が歩き、道路状況や危険箇所等の確認を行っており、その報告がありました。

## 上野幌小学校の関係委員などによる状況確認

- ◆10月10日（火曜日）に開催
- ◆上野幌小学校の校長、教頭、PTA、地域の方が参加  
※青葉小学校の校長と教頭先生も参加
- ◆統合により一番遠くなる地域から上野幌小学校まで歩き、歩道の状況や交通量などを確認

### 参加した委員から

- 南郷通の端から学校まで歩いたが、教育委員会が徒歩通学の目安としている距離（概ね2km）の範囲内であっても、低学年には大変だと感じた。
- 実際歩いてみて、やはり歩道が狭い個所もあると感じた。
- 大人と子どもの目線の違いを意識しながら危険個所を把握できたのはよかった。



校区の端になる南郷通付近を確認



青葉緑地の中の道路を確認

## 青葉小学校の関係委員などによる状況確認

- ◆10月13日（金曜日）に開催
- ◆青葉小学校のスクールゾーン実行委員会の委員（PTA、地域、学校など）が参加  
※上野幌小学校の校長、教頭、PTA、地域の方も参加
- ◆3グループに分かれ、厚別青葉通と青葉町13丁目付近を重点的に歩き、歩道の状況や交通量などを確認

### 参加した委員から

- 実際に歩くことで、現状を把握できたのはよかった。今後、児童の通学時間帯に歩きその時間帯の人や車の動きを確認する必要があると感じた。
- 青葉小学校関係者だけでなく、上野幌小学校の関係の方も来てくださり、合同で情報共有することができたのは、統合後の通学安全を検討する上で非常によかった。



地図を基にそれぞれ歩く道路を確認



青葉町13丁目付近の様子を確認

## 校区内の危険箇所等の把握（検討）

事務局から提示された地図を広げ、各委員が校区内を歩いた状況を振り返りつつ、危険箇所やその対応策などについて意見交換を行いました。



通学路に指定可能な道路について検討

### ～凡例～

-  車のスピードが速い
-  見通しが悪い
-  車の交通量が多い
-  外から中の様子が見えにくい
-  交通指導委員や教職員が登校指導をしている



## ■ 今後の通学安全の検討

今後の通学安全の検討について、事務局からの提案に基づき検討を行いました。

### <事務局からの提案>

通学安全の詳細な検討は、両小学校それぞれのスクールゾーン実行委員会で行うこととしたい。

#### スクールゾーン実行委員会

- ・ P T A
- ・ 町内会長
- ・ 学校
- ・ 交通安全指導員
- ・ スクールガードリーダー
- ・ 区役所
- ・ 警察
- 等

#### 理 由

- ◇メンバーに全単位町内会長や警察、区役所、交通安全指導員等が参加しているので、詳細な検討が可能
- ◇部会と実行委員会の委員を兼務している方もおり、情報交換しながら検討が可能

## 委員からの意見

各委員から主に以下のようなご意見がありました。

### ■通学安全について (その他)

具体的な危険箇所等に関するご意見は4ページを参照ください。

### ■今後の通学安全の 検討

- 統合後に通学路が変わる青葉小学校区の危険箇所を把握するのはもちろん大事だが、上野幌小学校区の現状も情報共有すべきではないか。
- 信号機の設置の要望はすべきだと思うが、厳しいのが現状。設置できなかった場合を想定して検討する必要もあると思う。
- 冬期間の雪の状況も検証しながら、冬の通学路も検討した方がいいのではないか。
- 統合により校区が広がる一方で、交通指導員の人材不足の問題もある。増員できるよう地域に働きかけをする必要があるのではないか。
- 危険箇所の対応を考えることも大切だが、子どもたちへの交通指導もこれまで以上に行う必要があるのではないか。
- 実際に子どもの見守りを行っている交通安全指導員やスクールガードリーダー等の視点からの意見は重要であり、より詳細な検討を行うことができると思う。
- 横断歩道や信号機の設置を具体的に要望となった場合、警察の方から意見をもらえるメリットは大きいと思うので、スクールゾーン実行委員会での検討は賛成である。
- スクールゾーン実行委員会で検討するのが良いとは思いますが、信号機などを警察に要望する場合は、教育委員会もしっかりバックアップしていただきたい。

＜児童会館の整備方針について：子ども未来局子ども企画課から＞

◆統合校への児童会館整備に係る札幌市の考えについて

児童会館の整備は、「札幌市市有建築物の配置基本方針」・「児童会館のあり方（指針）」に基づいて進めております。

＜札幌市市有建築物の配置基本方針＞（児童会館部分の概要）

- ・児童会館は、学校施設やコミュニティ施設と複合化
- ・ミニ児童会館は、小学校の改築にあわせて児童会館へ転換

＜児童会館のあり方（指針）＞

- ・既存の児童会館及びミニ児童会館は、小学校等と併設した児童会館として再整備
- ・「1中学校区1児童会館」から「1小学校区1児童会館」への転換
- ・小学校の改築時期にあわせて再整備。あわない場合は、学校増築や教室改修で再整備

これらの方針に基づき、以下のとおり検討します。

- ① 新しい統合校の校舎内で整備ができないか
- ② 新しい統合校に近接して整備ができないか
- ③ 既存の施設を学校改築時まで使用することができるか（老朽度と立地）

◆小学校と併設するメリット

主な利用者（小学生）の安全性・利便性が向上（学校敷地内から出ることなく、利用できる）

確認事項

第6回の部会では下記のことを確認しました。

通学安全の詳細な検討は、両小学校のスクールゾーン実行委員会で行う。

第7回の部会について

第7回部会は、来年1月下旬頃の開催を予定しており、新設校の名称の検討方法について協議を行います。

■ ご意見・ご質問は、下記までお寄せください ■

■小規模校検討委員会に関すること＜小規模校検討委員会事務局＞■

札幌市教育委員会 生涯学習部 学校施設課（学校規模適正化担当）  
〒060-0002 札幌市中央区北2条西2丁目 S T V北2条ビル5階  
T E L 011-211-3836 / F A X 011-211-3837 E-mail gakkokibo@city.sapporo.jp

■児童会館に関すること■

札幌市子ども未来局 子ども育成部 子ども企画課（放課後児童担当）  
〒060-0051 札幌市中央区南1条東1丁目 大通バスセンタービル1号館3階  
T E L 011-211-2989 / F A X 011-211-2943 E-mail kodomo.ikusei@city.sapporo.jp

※ 部会ニュースは、札幌市教育委員会ホームページにも掲載しています。  
<http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/tekisei/kentoutiiki.html>